



赤間っ子だより



1月号

令和3年1月6日
宗像市立赤間小学校 校長 早川 由洋

新たな年に希望を抱き！

明けまして おめでとうございます。

迎えた令和3年が、赤間小学校の全ての子ども達、そして保護者の皆様や地域の皆様にとって、明るく豊かな年となることを心より祈念しております。

さて、ちょうど1年前、現在の新型コロナウイルス感染症と向き合う日々を誰が想像していたでしょうか。子ども達は純粋に勉強や生活で頑張ることを1年の目標として据え、新しい年に希望と夢を抱いていたはずでした。しかし、2ヶ月後には予想だにできなかった全国一斉休校という厳しい現実が待っていました。6月に学校再開してからも、子ども達が以前のような学校生活を送ることは難しい状況が続きました。それでも、子ども達が口にしてくれた「学校が楽しい」「やっぱり学校がある方がいい」という言葉に、夢や希望をあきらめない子ども達の強さを感じてきました。未だ、感染症との生活は明確な出口が見えない状況にありますが、学校が子ども達にとって魅力的な場であり、成長を保障する場であり続けることが、子どもが令和3年を見据える上で土台になると考えています。

「WITH コロナ」「POST コロナ」と言われる新しい年に、子ども達が希望を見いだせるように、家庭・地域・学校が三位一体となって一歩一歩確実に歩を進めていきましょう。

3学期の本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



児童の放課後学校待機について

赤間小学校では、これまで低学年や中学年の子どもが兄弟児の放課を待ったり、習い事の時間調整をしたりするために、ホールなどの場所で待機する様子が見られました。しかし、この時間に子どもの安全確保のための職員を配置することは難しく、大人の目が行き届かない状況が生じておりました。学校としては、学校の管理下であるにも関わらず責任を持つことができない状況を看過することはできないと考えております。よって、子どもは放課した後、速やかに下校することを原則とさせていただきます。ご理解とご協力の程お願いいたします。

GIGAスクール構想って？

文部科学省から「GIGAスクール構想の前倒しを行い早期実現を図る」との方針が出され、教育現場ではその具現化が着々と進んでいます。

そもそも「GIGAスクール構想」とは、来るべき Society5.0 を生き抜く子ども達の資質・能力を高め一人一人の個性に合わせた教育を実現すべく、教育現場のICT環境が整備されるもので、子ども達一人一人にタブレット端末が配布されます。導入時期は今年度末までに完備となっていますので、実際の運用開始は次年度春からということになります。

赤間小学校でも、既に教室内にタブレットを保管するための収納庫が設置される工事が進んでいます。子ども達は、何かを調べたり、調べたことを発表したりする際に自分のタブレットを使って学習を行うこととなります。子ども達は順応力の高さであつという間に使いこなすことになるでしょう。



・・・1月の主な行事・・・

日	曜	行 事	日	曜	行 事
行事の詳細は紙面にてお伝えしています。					

☆ 3学期の行事について ☆

現段階に於いて、3学期に学年で保護者と子どもが一堂に会する行事や全校児童で行う行事は実施しない方針です。しかし、「卒業式」につきましては規模・内容を精査した上で実施する予定です。「学校の日」については、その時点での感染症の状況をふまえ実施の可否を判断いたします。

